

NPO法人  
持続可能な社会をつくる  
**元気ネット**



2006年  
元気大賞

周囲約23km、人口約5,800人の観光の島で、美しい私たちの与論島を後世に残すため、約600人のメンバー一人ひとりが「勿体ない心」と「私一人だけでも」という意識を念頭に活動を展開している。昭和25年に発足し、「花いっぱい運動」「使用済み油のリサイクル」「家庭排水による水質汚染防止」「マイパック運動」等行政と協働による活動には、長い歴史がある。



プロジェクト名：楽しみながらエコライフ  
◇与論町地域女性団体連絡協議会（鹿児島県与論町）

市民が創る環境のまち“元気大賞”事業

クリック



## ◇エコロジー・エネルギー研究会(長野県小諸市)

プロジェクト名: 持続可能なまちづくり「陽の当たる坂のまち小諸」



平成16年、市内の小学校で実施してきたエコ父さんの「自然エネルギー教室」や「自然エネルギーシンポジウム」を通じ、学校太陽光発電所を提案。平成18年、市内全ての小中学校8校で10kw太陽光発電システムが設置され、動き出している。小諸高原美術館のほか市内3ヶ所に気象観測ロボットを設置し、気象データを活かした『自分たちの暮らしや地場産業に役立つまちおこし』を行っている。



坂の上自然エネ教室



小諸ワイナリー  
気象観測ロボット

# 市民が創る環境のまち“元気大賞”事業



**2006年  
奨励賞**

## ◇あだたら環境農業研究会(福島県二本松市)

プロジェクト名:あだたら野菜クルプロジェクト(岳温泉を中心とした地域循環型農業)



食品残さ投入の様子



市内の小学校 堆肥を花壇に使用



有機大根を使った  
「一句一品」



有機農野菜研修会



農家・調理師研修会  
テーマ「郷土料理とお祭り料理」

平成10年6月に「岳温泉旅館から出た食品残さ(500kg/日)を國分農場(養牛)で堆肥化し、二本松有機農業研究会で有機野菜を栽培。再び旅館に納入し、「一句一品」料理として出す、地域内環境リサイクル活動を開始。旅館や地元農家、流通業、ゴルフ場、オートキャンプ場など、異業種の連携で、食品残さの循環、地元小中学校への堆肥の寄付、視察者受け入れ、生産現場研修会、講演活動、その他サポートなど、循環型農業形成のための様々な活動を行い地域内循環の意識が非常に高まった。

# 市民が創る環境のまち“元気大賞”事業

クリック